

次の文章を読み、その理解を踏まえたうえで、あなたの考えを 800 字以内で述べてください。

私が学生の頃、「飢えた子の前で文学は何ができるか」(一九六四年)という発言がジャン・ポール・サルトル^[注1]によってなされている。サルトルは文学で平和を実現できるわけではないという当たり前のことしかいわなかったと記憶しているが、そういう問いが深刻に受け止められる時代があった。

その頃は文学は人間の精神の自立的な行為によって生まれるものであり、現実に役立つものではないとこの問い自体に反撥^{はんぱつ}しつつ、そう問うことにどこか共感する想いがあった。実際に「飢えた子」を救うことはできないが、最も深いところの悲しみを表現することで人々を動かし、社会が動くことが可能だなどと考えていた。

(古橋信孝『文学はなぜ必要か——日本文学&ミステリー案内』より)

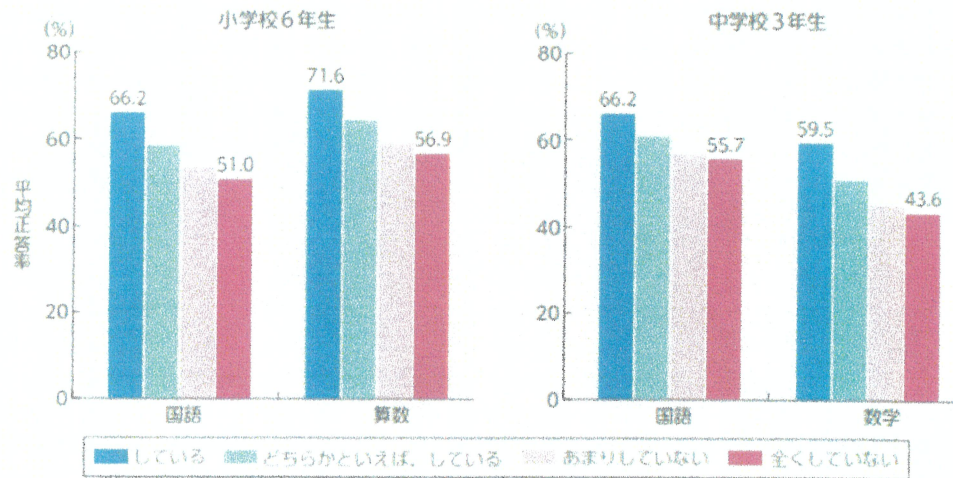
[注1] ジャン・ポール・サルトル (1905 年～1980 年) は、近代のフランスの哲学者。

看護学部 看護学科

次の文章を読み、以下の問題に答えなさい。

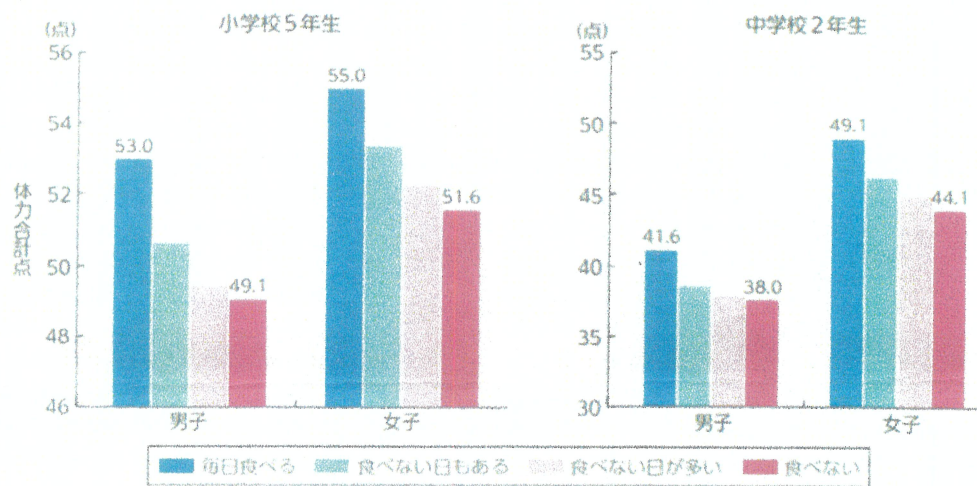
図 1 は、文部科学省が実施した令和 3(2021)年度「全国学力・学習状況調査」結果である。「朝食を毎日食べていますか」という問いに回答した小学校 6 年生、中学校 3 年生の平均正答率との関係を表している。

図 2 は、スポーツ庁が実施した令和 3(2021)年度「全国体力・運動習慣等調査」結果である。「朝食を毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)」という問いに回答した小学校 5 年生、中学校 2 年生の体力合計点との関係を表している。



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(令和 3(2021)年度)
 注：(質問)「朝食を毎日食べていますか」
 (選択肢)「毎日食べている」、「どちらかといえば、食べている」、「あまりしていません」、「全くしていません」

図 1. 朝食の摂取と「全国学力・学習状況調査」の平均正答率との関係



資料：スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(令和 3(2021)年度)
 注：(質問)「朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)」
 (選択肢)「毎日食べる」、「食べない日もある」、「食べない日が多い」、「食べない」

図 2. 朝食の摂取と「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点との関係

出典：農林水産省：令和 3 年度食育推進施策(食育白書)第 2 部 食育推進施策の具体的取組, p.45 より抜粋,
https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/r3_wpaper-23.pdf

問題 1. 図 1 と図 2 から読み取れることを 200 字以内で述べなさい。

問題 2. 成長期における朝食摂取の意義についてあなたの考えを 600 字以内で述べなさい。